

日本地震工学会・大会－2008

期 日：2008年11月3日（月）～5日（水）

会 場：仙台市情報・産業プラザ（仙台市青葉区中央1-3-1, A E R 5階, 6階）

目 次

第1会場（A E R 5階：多目的ホール）

11月3日 9:30-11:15

鉄筋コンクリート構造（解析・設計法）

座長：中村友紀子・坂下雅信

- 偏差係数法を用いた地震による建築物の中間層損傷集中の検討 2
○益野英昌（仙台工業高等学校）・柴田明徳
- 地震応答スペクトルを用いた短周期建物の最大応答変位の推定 4
○田村良一（篠塚研究所）
- 弾性応答スペクトルを用いた残留変位の推定 6
○桑原里紗（東京大学）・高橋典之・崔琰・中埜良昭
- 歴史的建築物の常時微動測定に基づく振動特性評価 8
- その2 アウグスタ飛行船格納庫（鉄筋コンクリート造建築）の振動特性評価
○高橋典之（東京大学）・中埜良昭・青木孝義
- 超高層建築物の柱断面誤差を考慮した地震時応答 10
○永野康行（福井工業大学）・西田真也
- 超高層RC造建築物における層降伏耐力の変動による地震応答の変化 12
○和泉信之（千葉大学）
- 立面的に整形な鉄筋コンクリート造多層偏心骨組の地震応答制御設計手法に関する研究 14
○藤井賢志（千葉工業大学）

11月3日 11:15-12:45

鉄筋コンクリート構造（地震被害）

座長：田村良一・藤井賢志

- 中国四川大地震による都江堰市における学校建築の被害の調査 16
○壁谷澤寿海（東京大学）・壁谷澤寿一・楠浩一・李康寧
- 中国四川大地震復旧技術支援連絡会議 第2次復旧技術支援 建築チーム活動報告 18
（その1 活動目的、被災調査および技術支援セミナーの概要）
○中埜良昭（東京大学）・前田匡樹・迫田丈志・坂下雅信
- 中国四川大地震復旧技術支援連絡会議 第2次復旧技術支援 建築チーム活動報告 20
（その2 分類別被害例）
○坂下雅信（京都大学）・中埜良昭・前田匡樹・迫田丈志
- 中国四川大地震復旧技術支援連絡会議 第2次復旧技術支援 建築チーム活動報告 22
（その3 被災建物の耐震性能と復旧案）
○迫田丈志（東北大学）・中埜良昭・前田匡樹・坂下雅信
- RC造建築物の被害と地震力指標の相関についての考察 - 三角形線形補間法を用いた地震力指標値の近似 - 24
○佐藤健一（新潟大学）・中村友紀子

2007年新潟県中越沖地震で被災したRC造学校校舎の耐力低下モデルを用いた地震応答解析	26
○石井貴子(東京大学)・壁谷澤寿海・金裕錫	

11月4日 9:30-11:45

鉄筋コンクリート構造(部材実験)

座長:真田靖士・中村孝也

片側そで壁付き柱に関する実験的研究(その1 実験概要および結果)	28
○裴根國(東京大学)・PHAN Van Quang・壁谷澤寿海・金裕錫・壁谷澤寿一・石井貴子	
片側そで壁付き柱に関する実験的研究(その2 ひび割れ及び鉄筋降伏状況)	30
○PHAN Van Quang(東京大学)・裴根國・壁谷澤寿海・金裕錫・壁谷澤寿一・石井貴子	
耐震壁側柱脚部の鋼管を用いた局所的補強効果の検証実験	32
○廣瀬泰三(豊橋技術科学大学)・Botirjon YORKINOV・佐島悠太・真田靖士	
Structural Test of Concrete Block Infilled R/C Frames for Measuring Local Internal Forces	34
○Botirjon YORKINOV(Toyohashi University of Technology)・Taizo HIROSE・Yasushi SANADA	
擬似動的的手法による旧基準RC柱の崩壊実験	36
○近藤隆幸(首都大学東京)・中村孝也・芳村学	
下階壁抜け柱に隣接して連層鉄骨ブレース補強を施した立体RC骨組の三方向加力実験(その1)	38
○北山和宏(首都大学東京)・林秀樹	
下階壁抜け柱に隣接して連層鉄骨ブレース補強を施した立体RC骨組の三方向加力実験(その2)	40
○林秀樹(首都大学東京)・北山和宏	
鉄筋コンクリート部材のひび割れ量進展過程に関する実験的研究 その3 実験結果	42
○高橋絵里(東京大学)・高橋典之・中埜良昭	
柱と梁が同形状・同配筋の鉄筋コンクリート造柱梁接合部の水平加力実験	44
○楠原文雄(東京大学)・田崎渉・塩原等	

11月4日 13:00-15:15

地震観測・振動・その他

座長:年縄巧・中村尚弘

旧型強震計の活用と一般観測協力者との連携による強震観測体制「Pネット」の展開	46
○飛田潤(名古屋大学)・福和伸夫	
時系列強震動予測による想定南海地震における建物被害推定	48
○那仁満都拉(飛島建設)・川瀬博	
建物内鉛直アレー記録の上下動成分の相関と位相差	50
○年縄巧(明星大学)・早川崇	
構造種別や層数を考慮に入れた建物群の構築	52
○境有紀(筑波大学)・福川紀子・新井健介	
2008年岩手県沿岸北部を震源とする地震による建物被害調査結果と強震記録の性質	54
○中川文寛(筑波大学)・境有紀・鈴木達矢	
2008年7月24日岩手県沿岸北部の地震時に八戸市庁で観測された地震動の特性	56
○鹿嶋俊英(建築研究所)・小山信・大川出・飯場正紀	
大ストローク振動台の振動特性改善に関する試み	58
○高橋徹(千葉大学)・斉藤大樹・小豆畑達哉・森田高市・野口和也・箕輪親宏	
地震時の家具の移動量に対する上下動の影響	60
○金子美香(清水建設)	
耐震構造設計における諸量・諸関数のあいまい性	62
○河村廣(神戸大学)	

11月4日 15:30-17:00

原子力発電所

座長：境有紀・飛田潤

原発耐震安全余裕の元は「3C i」「岩着」「鉄筋量」 64

○伯野元彦（攻玉社工科短期大学）

3次元FEMによる原子力発電所建屋の強非線形域の地震時挙動とフラジリティ評価の試み 66

その1 終局レベルの建屋応答性状

○猪田幸司（関西電力）・中村尚弘・鈴木琢也・綱嶋直彦・中村壮志・中野富夫

3次元FEMによる原子力発電所建屋の強非線形域の地震時挙動とフラジリティ評価の試み 68

その2 建屋フラジリティ評価

○中村尚弘（竹中工務店）・猪田幸司・鈴木琢也・綱嶋直彦・中村壮志・中野富夫

3次元FEMによる原子力発電所建屋の強非線形域の地震時挙動とフラジリティ評価の試み 70

その3 建屋鉄骨部の損傷確率評価

○鈴木琢也（竹中工務店）・中村尚弘・猪田幸司・綱嶋直彦・中村壮志・中野富夫

原子力発電所建屋鉄骨トラス部の終局耐力に関する検討 72

～個材の座屈現象が全体挙動に及ぼす影響～

○神地正紀（竹中工務店）・今村晃・寺山武志・金子洋文

原子力発電所鉄骨トラス部材の圧縮座屈に対する終局クライテリアについての一考察 74

○谷本英輔（竹中工務店）・神地正紀・鈴木琢也

11月5日 9:30-11:15

木造（在来工法）

座長：斎藤幸雄・中治弘行

非線形応答解析結果に基づいた既存不適格建物の耐震補強における費用対効果の再検討 76

- Newmarkのエネルギー一定則，変位一定則との対応 -

○林佑樹（筑波大学）・境有紀

木造住宅の大地震時最大応答予測手法の提案 78

○村瀬伸吾（信州大学）・五十田博

微動計測に基づいた在来構法木造戸建住宅の共振周期 80

岩本亮・○川瀬博（京都大学）・那仁満都拉

木質ラーメン構造建物の時刻歴応答解析による追跡 82

○中川学（信州大学）・五十田博

2007年能登半島地震における被災木造建物の立体骨組解析 84

○小林正実（滋賀県立大学）・中尾早織

水平2方向の地震入力を受ける軸組木造長屋モデルの直交壁効果について 86

○山田明（平田建築構造研究所）・鈴木三四郎

長ほぞ込栓打仕口接合部の引抜き耐力の評価法に関する検討 88

○中尾方人（横浜国立大学）・後藤正美・鈴木祥之

11月5日 11:15-12:45

木造（伝統工法）

座長：五十田博・中尾方人

常時微動計測に基づく東本願寺御影堂門の平面振動モードとロッキング振動 90

○新田祐平（京都大学）・宮本慎宏・鈴木祥之・宮本裕司・川瀬博

伝統構法木造住宅の重量と耐震性への影響 92

○斎藤幸雄（広島国際大学）・鈴木祥之

地震火災を受けた京町家の崩壊危険性の検討 94

○須田達（木四郎建築設計室）・鈴木祥之

伝統木造柱貫仕口の十字型フレームの復元力特性 96

○棚橋秀光（TASSデザイン研究室）・鈴木祥之

伝統的木造住宅の垂れ壁付き構面の静的加力実験と振動台実験の比較	98
○和田幸子(信州大学)・五十田博・河合直人・岡部実	
E-ディフェンス震動台実験による伝統木造仕口の損傷に関する検討	100
○中治弘行(鳥取環境大学)・中尾方人・向坊恭介・鈴木祥之	

第2会場 (A E R 6階: セミナールーム(2)A)

11月3日 9:30-12:30

機械設備系・免震・制振・ヘルスマニタリング

座長: 柏崎昭宏・藤田智己

地震応答の自乗平均値の積分値の近似計算法	104
○青木繁(東京都立産業技術高等専門学校)・深野あづさ	
動的交番荷重下の機器基礎定着部の健全性評価検討	106
長澤和幸・折田修一・○大島宣昭(日立GEニュークリア・エナジー)・遠山典秀・浪田芳郎・ 下戸芳寛	
2008年岩手・宮城内陸地震における免震建築物調査(その1: 調査概要及び現地調査報告)	108
○井上波彦(国土技術政策総合研究所)・小豆畑達哉・飯場正紀	
2008年岩手・宮城内陸地震における免震建築物調査(その2: 地震観測及び解析結果)	110
井上波彦・小豆畑達哉・○飯場正紀(建築研究所)	
軽量機械構造物を対象とした渦電流減衰効果による免震装置用減衰装置	112
○古屋治(東京都立産業技術高等専門学校)・小形慶治・田中豊彦・倉林浩	
負剛性機構を備えた三次元免震台の研究	114
○松村拓樹(京都大学)・松久寛・宇津野秀夫・山田啓介・澤田勝利・安田正志	
同調粘性マスダンパーの調和振動応答低減効果に関する比較検討	116
○油川健樹(東北大学)・堀則男・五十子幸樹・井上範夫	
ロッキング構法を適用した制振壁による構造物の応答制御	118
○船木尚己(東北工業大学)・木村将大・藤田智己	
ギャップ壁を有する鉄筋コンクリート造構造物の履歴減衰効果	120
○上村勇人(東京大学)・楠原文雄・塩原等	
建物用IT強震計による耐震補強前後の振動観測: 常時微動観測との比較	122
○池田泰久(東京大学)・鷹野澄・濱本卓司・崔井圭	
比較的長周期域での振動特性評価のための可搬型微動計の開発	124
○佐武直紀(応用地震計測)・福和伸夫・飛田潤・小出栄治・太田賢治	
2008年岩手・宮城内陸地震前後における実存建物の固有振動数の変化	126
○田中匠子(東北大学)・源栄正人	

11/4 9:30-12:00

地中構造物・杭・基礎構造・地盤-構造物相互作用・土木構造物

座長: 飛田哲男・風間基樹

形状が異なるコンクリートピアの地震時挙動と洪水吐の地震時安全性	128
○有賀義明(弘前大学)	
Observed sewer structure upliftings and their relationship with the peak ground acceleration	130
○Gi Cheon Kang(京都大学)・Tetsuo Tobita・Susumu Iai・Yasuhiko Konishi	
動的非線形有限要素法解析による複合地盤中の杭の耐震性能評価	132
○富澤幸一(土木研究所寒地土木研究所)・三浦清一	
DRAINED VERSUS UNDRANIED FINITE ELEMENT SIMULATION OF LATERAL LOADED PILE GROUP	134
○Mahmoud N. Hussien(京都大学)・Tetsuo Tobita・Susumu Iai・Kyle M. Rollins	
性能設計を考慮した締固めによる改良仕様の設定に関する研究	136
○原田健二(不動テトラ)・安田進・新川直利・有山裕亮	

多質点系の1次モード応答と等価有効応力比に基づく液状化地盤の最大変形評価	138
○新井洋(建築研究所)・林康裕・中井正一	
比較的単純な形状を有する建物での多点同時地震観測	140
○小山信(建築研究所)・飯場正紀・藤井睦・保井美敏・渡壁守正	
非線形動的解析に基づく断層変位作用下のRCアーチ橋の損傷評価	142
○中野友裕(東海大学)・太田良巳	
時刻歴変位波形入力による耐震解析	144
○松田宏(JIPテクノサイエンス)	
橋桁の津波荷重評価に関する実験的検討	146
○森山哲雄(筑波大学)・庄司学・藤間功司・嶋原良典・笠原健治	

11月4日 13:00-15:15

地盤の液状化・斜面崩壊

座長：山口晶・渦岡良介

新潟県中越沖地震における被災宅地危険度判定士の活動と今後の教訓	148
○橋本隆雄(千代田コンサルタント)	
2008年岩手・宮城内陸地震における斜面災害と地表地震断層の関係	150
○森伸一郎(愛媛大学)・久木留貴裕	
2008年岩手・宮城内陸地震により発生した沼倉裏沢地すべりの地盤特性	152
秦吉弥・伊藤圭一・○中島祐一(日本工営)・倉岡千郎・一井康二	
2008年岩手・宮城内陸地震により発生した沼倉裏沢地すべりの動的解析	154
○秦吉弥(日本工営)・一井康二・中島祐一・倉岡千郎・伊藤圭一	
凍結試料から得られた複数のひずみレベルに対する液状化強度曲線の簡易推定式	156
○谷本俊輔(土木研究所)・杉田秀樹・佐々木哲也・中島進	
不攪乱凍結試料の液状化試験から得られた破壊角・変相角	158
○中島進(土木研究所)・杉田秀樹・谷本俊輔	
斜面の変形性能照査における動的解析手法の比較	160
○高橋千明(パシフィックコンサルタンツ)・東瀬康孝・蔡飛	
地下水位上昇を受ける砂質基礎地盤の地震時変状	162
○西脇一樹(茨城大学)・安原一哉・石田達久	
浸透固化処理工法を用いた上層部分改良による人工液状化実験	164
○池野勝哉(浸透固化処理工法研究会)・吉田誠・菅野高弘・中澤博志	

11月4日 15:30-17:30

耐震補強・新しい構造・材料・実験

座長：北山和宏・船木尚己

CES外付耐震補強工法における補強柱の構造性能に及ぼすFRC混入繊維種の影響	166
○田口孝(矢作建設工業)・倉本洋	
ACMブレース工法によるRC建屋の耐震補強	168
小野紘一・○高谷富也(舞鶴工業高等専門学校)・久部修弘	
PC鋼より線を並列配置した落橋防止ケーブルの定着部照査に関する検討	170
○松田仁(神鋼鋼線工業)・森下健一・荒木茂	
木造住宅の変形モード制約型耐震デバイスの開発	172
○向井洋一(奈良女子大学)・瀧野敦夫	
心棒の寸法・本数が洋型墓石の耐震性に及ぼす影響の振動台実験による検討	174
○三輪滋(飛島建設)・古川愛子・清野純史	
アンボンドプレキャストプレストレストコンクリート隅柱部分架構の水平二方向載荷実験	176
○大西直毅(東京大学)・塩原等	
壁土材料試験体の乾燥法	178
○山田耕司(豊田工業高等専門学校)・鈴木祥之	

建物耐震化啓発のための繰返し実験用木造住宅倒壊模型	180
○小出栄治（応用地震計測）・佐武直紀	

11月5日 9:30-11:15

深い地下構造

座長：引田智樹・藤原広行

孔内地震計固着ツールの開発	182
○太田賢治（応用地震計測）・内山成和・飯沼博幸・小出栄治	

Crustal velocity structure modeling: Estimation of the seismic basement depth using 1-D waveform inversion	184
--	-----

○Petukhin Anatoly（地域地盤環境研究所）

内陸浅発地震の強震動評価のための深部地盤全国モデル	186
---------------------------	-----

○藤原広行（防災科研）・河合伸一・青井真・森川信之・先名重樹・大井昌弘・早川譲・遠山信彦・松山尚典・岩本鋼司・鈴木晴彦・劉瑛

微動観測による島根県浜田市の地盤構造推定	188
----------------------	-----

○野口竜也（鳥取大学）・足立正夫・田原一志・山下毅・西田良平

P コーダ波・S コーダ波 H/V スペクトルの同時逆解析による S 波速度構造の推定	190
---	-----

○小林源裕（原子力安全基盤機構）

波形逆解析による深部地下構造モデルの推定	192
----------------------	-----

○引田智樹（鹿島建設）・池浦友則・笠松健太郎

一次元構造を仮定した地下構造推定手法の三次元構造への適用性検討	194
---------------------------------	-----

○笠松健太郎（鹿島建設）・池浦友則・引田智樹

第3会場（A E R 6階：セミナールーム(2)B）

11月3日 9:30-12:15

地盤震動(1)

座長：横井俊明・中井正一

どこまで震度は正確に予測できるか？：現在の緊急地震速報の方法における予測震度のばらつきに関する一考察	198
--	-----

○干場充之（気象研究所）・大竹和生・岩切一宏・明田川保・中村洋光・山本俊六

Real-Time Ground Motion Prediction Using Artificial Neural Network For Earthquake Early Warning System	200
--	-----

○H. Serdar Kuyuk（東北大学）・Masato Motosaka

震源近傍における地盤非線形応答解析	202
-------------------	-----

○木暮晃子（横浜市立大学）・木下繁夫

2次元薄層法による不整形地盤への表面波入射(その1)	204
----------------------------	-----

○中井正一（千葉大学）・中川博人

2次元薄層法による不整形地盤への表面波入射(その2)	206
----------------------------	-----

○中川博人（千葉大学）・中井正一

洪積台地端部における地盤震動特性 -2次元有限要素法解析による検討-	208
------------------------------------	-----

○関口徹（千葉大学）・永田葉子・中井正一

ESTIMATION OF SHEAR WAVE VELOCITY STRUCTURE AND GROUND CLASSIFICATION	210
---	-----

USING ARRAY OBSERVATION OF SHORT PERIOD MICROTREMOR IN KOSHIGAYA CITY, JAPAN

○Dayra Yessenia Blandon Sandino（CIGEO/UNAN-Managua）・Toshiaki Yokoi・Koichi Hayashi

微動のアレイ観測と相関解析により推定される Rayleigh 波の分散曲線に及ぼす	212
---	-----

高調波1次モードの影響に関する数値実験

○横井俊明（建築研究所）

地震波の主要動の H/V スペクトルに着目した逆解析手法について	214
○安井謙 (福井工業大学)・西川隼人	
柏崎刈羽原子力発電所内の鉛直アレー観測記録の NIOM 解析	216
○茂木秀則 (埼玉大学)・SHRESTHA Santa Man・川上英二・岡村真也	
数値シミュレーション及び、強震記録・GPS 記録に基づく震源域における地震時地盤変位の評価	218
○井上修作 (東京工業大学)・村上陽一郎・大町達夫	

11 月 4 日 9:30-12:00

地盤震動(2)

座長：佐藤智美・香川敬生

地震カテゴリー別の確率論的地震動予測地図	220
○石川裕 (清水建設)・藤原広行・能島暢呂・奥村俊彦・宮腰淳一	
地形・地盤分類 250m メッシュマップ全国版の構築	222
○若松加寿江 (関東学院大学)・松岡昌志	
常時微動の H/V スペクトル比と地形・地盤分類を用いたスペクトル増幅率の推定	224
○先名重樹 (防災科研)・翠川三郎・若松加寿江	
K-NET・KiK-net 観測点における地盤の平均 S 波速度と 50m-DEM による地形計測値の関係	226
○藤本一雄 (千葉科学大学)	
経験的サイト増幅特性および異常震域補正の震度予測への適用	228
○森川信之 (防災科研)・藤原広行	
地震動距離減衰特性を検討するための遠隔 2 地点間の相対地盤増幅率評価の試み	230
○池浦友則 (鹿島建設)	
関東地方の揺れやすさ分布	232
○栗田哲史 (東電設計)・高橋聡・安中正	
2008 年岩手・宮城内陸、岩手県沿岸北部地震における仙台市内の強震動分布特性	234
○大野晋 (東北大学)・源栄正人	
2008 年 7 月 24 日に発生した岩手県沿岸北部の地震で震度 6 弱を観測した青森県内の観測点の震動特性	236
○片岡俊一 (弘前大学)	
2004 年留萌支庁南部の地震による K-NET 港町観測点 (HKD020) での大加速度強震動に対するサイト特性の影響	238
○前田宜浩 (北海道大学)・高井伸雄・笹谷努	

11 月 4 日 13:00-15:00

震源特性(1)

座長：竹中博士・野津厚

三次元減衰構造・震源・地盤増幅の同時インバージョンによる応力降下量の推定	240
ー地震タイプ・震源深さと応力降下量の関係ー	
○中村亮一 (東電設計)・島崎邦彦	
中国地方の地殻内地震の短周期レベルの推定 ー断層タイプによる違いに着目してー	242
○佐藤智美 (清水建設)	
2003 年宮城県北部地震本震および余震の応力降下量	244
○鶴来雅人 (地域地盤環境研究所)・香川敬生・入倉孝次郎	
KiK-net 地中記録を利用した中小地震の地震モーメントの簡易推定	246
○赤澤隆士 (地域地盤環境研究所)・Petukhin Anatoly	
地表地震断層と震源断層における長さと変位量の経験的關係および強震動予測のための震源モデル	248
○入江紀嘉 (大崎総研)・壇一男・三明雅幸・入倉孝次郎	
破壊開始点とアスペリティ位置が地震動分布に及ぼす影響	250
○香川敬生 (鳥取大学)	
破壊伝播の複雑さを特性化する試みと強震動予測結果への効果	252
○渡辺基史 (清水建設)・藤原広行・石井透・松島信一・早川崇	

強震動予測レシピに基づく予測結果のバラツキ評価の検討～バラツキ空間分布形状の定量的評価の試み～	254
○山田雅行 (ニュージェック)・先名重樹・藤原広行	

11月4日 15:15-16:45

震源特性(2)

座長：池浦友則・渡辺基史	
十勝沖地震 (2003 年) と GPS 観測による電子基準点の位置変化 ～「歪み図」から前兆すべりの可能性を検証する～	256
○高向正信	
2005 年福岡県西方沖地震における高精度すべり時空間分布の推定とその検証	258
○大島光貴 (九州大学)・竹中博士	
近地 P 波記録のイメージングから得られた 2008 年岩手・宮城内陸地震における最初の 5 秒間の震源過程	260
○竹中博士 (九州大学)・山本容維	
2008 年 7 月 24 日岩手県沿岸北部地震 (M_j 6.8) の震源特性の検討	262
○南雲秀樹 (北海道大学)・笹谷努	
1978 年・2005 年宮城県沖地震の動力学的破壊過程と震源パラメータ	264
○木村武志 (東京大学)・額田一樹・三宅弘恵・呉長江・宮武隆	
開北橋におけるサイト増幅特性と 1978 年宮城県沖地震のアスペリティサイズについて	266
○野津厚 (港湾空港技研)	

11月5日 9:30-11:45

地盤震動(3)

座長：石井透・植竹富一	
実地震波合成法による周期非定常性の検討	268
○横山一樹 (東京理科大学)・中村雅彦・佐々木文夫・玉置哲男・田辺章・水町渉・山田道夫	
最大加速度比と震度フィルターの対応	270
○西川隼人 (舞鶴工業高等専門学校)・宮島昌克	
地震動の方向性の定量的な検討とそれに基づいた平均方向の提案	272
○熊本匠 (筑波大学)・境有紀	
東京湾岸における中国・四川地震の記録の特徴	274
○植竹富一 (東京電力)・高橋聡	
石油タンクへの入力地震動としてのやや長周期地震動の地域特性に関する検証 ー志布志地区ー	276
○座間信作 (消防研究センター)・野澤貴・畑山健・岩田克己	
東京における地震応答の継続時間に関する一考察	278
○篠泉 (足利工業大学)	
東京の地震動の応答継続時間スペクトルとその震央方向特性	280
○石井透 (清水建設)	
南海トラフ沿いの軟弱堆積層と三大平野の堆積地盤を考慮した長周期地震動のシミュレーション	282
○山本優 (大成建設)・吉村智昭・七井慎一・久田嘉章	
M8 地震の広帯域地震動再現に向けた経験的グリーン関数の適用手法について	284
○江藤公信 (東京ソイルリサーチ)・福元俊一	

第4会場（A E R 6階：セミナールーム(1)A+B）

11月3日 9:30-11:15

ライフライン・緊急速報・災害情報

座長：柴山明寛・庄司学

ライフラインシステムの地震時復旧シナリオのモデル化とその相互依存関係	288
○豊田安由美（筑波大学）・庄司学	
ライフラインネットワークの地震ハザードに対する俯瞰的システム信頼性評価	290
庄司学・伊藤顕子・○田端雅史（筑波大学）	
道路巡視点検状況把握システム「みちバト」の開発	292
○長屋和宏（国土技術政策総合研究所）・山田明彦・小路泰広	
アドホック通信技術を用いた被害情報収集に関する研究	294
○柴山明寛（情報通信研究機構）・久田嘉章・座間信作・遠藤真・村上正浩・滝澤修	
平成20年岩手・宮城内陸地震における学校での緊急地震速報の受信と対応状況	296
○源栄正人（東北大学）・本間誠	
超高層ビルを対象とした緊急地震速報とリアルタイム地震観測システムの緊急対応計画への適用	298
○久保智弘（ABSコンサルティング）・久田嘉章・村上正浩・堀内茂木・山本俊六・中村洋光	
緊急地震速報にオンサイト警報を付加した早期地震警報統合システム	300
○神田克久（鹿島建設）・那須正・宮村正光・小出栄治	

11月4日 9:30-11:30

防災計画

座長：佐藤健・吉田雅穂

千葉県地震被害想定調査(1)	302
○浅尾一己（千葉県）・中井正一	
地震被害想定のための浅部地盤モデル作成—千葉県地震被害想定調査（2）	304
○稲垣賢亮（応用地質）・山本明夫・浅尾一己・中井正一	
千葉県におけるK-NETと震度観測網の利活用	306
○大井昌弘（防災科研）・藤原広行・浅尾一己・岩崎斉	
ウェブ版アンケート震度調査システムで収集した震度の分析	308
吉田雅穂（福井工業高等専門学校）・○佐々木辰也	
建築設備の機能停止を考慮したオフィスビルの地震リスク評価事例—その1 評価手法の概要—	310
○境茂樹（間組）・加藤貴司	
建築設備の機能停止を考慮したオフィスビルの地震リスク評価事例—その2 地震リスク評価結果	312
境茂樹（間組）・○加藤貴司	
工程管理手法を用いた地震時の事業継続影響度評価に関する研究	314
○副島紀代（大林組）・目黒公郎	
既往地震による河川施設の被災事例調査	316
○田村修（国土技術政策総合研究所）・長屋和宏・小路泰広	

11月4日 13:00-15:00

岩手・宮城内陸地震(1)

座長：福元俊一・三辻和弥

2008年岩手・宮城内陸地震の震源モデルの構築と波形シミュレーション	318
○倉橋奨（愛知工業大学）・正木和明・入倉孝次郎	
2008年岩手・宮城内陸地震の被災地域における常時微動H/Vスペクトル	320
○高橋容之（東北大学）・谷野正朝・源栄正人	
2008年岩手・宮城内陸地震による鬼首カルデラの地震動特性と微動探査について	322
○山中浩明（東京工業大学）・元木健太郎・鈴木晴彦・福元俊一・江藤公信・瀬尾和大	

2008年岩手・宮城内陸地震により被災した学校建築物の調査と余震および常時微動観測 その1 被害調査及び地震の概要	324
○松川和人(東北大学)・前田匡樹・三辻和弥・五十嵐さやか・岡野創・山添正稔	
2008年岩手・宮城内陸地震により被災した学校建築物の調査と余震および常時微動観測 その2 上野目小学校の被害と耐震性能	326
○五十嵐さやか(東北大学)・前田匡樹・三辻和弥・迫田丈志・松川和人	
2008年岩手・宮城内陸地震により被災した学校建築物の調査と余震および常時微動観測 その3 岩ヶ崎高校の被害と耐震性能	328
○前田匡樹(東北大学)・三辻和弥・迫田丈志・五十嵐さやか・松川和人・中神宏昌	
2008年岩手・宮城内陸地震により被災した学校建築物の調査と余震および常時微動観測 その4 余震観測結果	330
○山添正稔(鹿島建設)・岡野創・三辻和弥・松川和人・前田匡樹	
2008年岩手・宮城内陸地震で被災した学校建築物の調査と余震および常時微動観測 その5 上野目小学校における常時微動観測	332
○三辻和弥(東北大学)・松川和人・佐々木達夫・前田匡樹	
11月4日 15:15-16:30	
岩手・宮城内陸地震(2)	
座長：三辻和弥・福元俊一	
造成宅地における岩手・宮城内陸地震の地震動増幅評価	334
○中尻智大(東北大学)・森友宏・風間基樹・松下克也・川崎淳志・佐藤真吾・南陽介	
2008年岩手・宮城内陸地震におけるRC造学校建物の余震観測および地震応答解析	336
○金裕錫(東京大学)・壁谷澤寿海・壁谷澤寿一・坂上実・三宅弘恵・木村武志	
2008年岩手・宮城内陸地震による建物被害と発生した地震動の特性	338
○青井淳(筑波大学)・境有紀・新井健介・鈴木達矢	
岩手・宮城内陸および岩手県沿岸北部地震を受けたRC免震構造物の挙動に関する研究	340
○壁谷澤寿一(東京大学)・壁谷澤寿海・坂上実・金裕錫	
2008年岩手・宮城内陸地震で発生した液状化地点	342
○山口晶(東北学院大学)・日野友則・吉田望	
11月5日 9:30-12:00	
リモートセンシングによる災害把握	
座長：山崎文雄・三浦弘之	
2008年岩手・宮城内陸地震での斜面崩壊地における高分解能SAR画像の特徴	344
○翠川三郎(東京工業大学)・三浦弘之	
2008年中国四川大地震での被害地域における高分解能SAR画像の特徴	346
○三浦弘之(東京工業大学)・翠川三郎	
ALOS-AV2画像を用いた2008年中国四川地震における山間部の被害検出	348
○リュウ・ウェン(千葉大学)・山崎文雄	
映秀の谷を埋めた岩石流の謎：中国四川地震の衛星画像と現地調査	350
○山崎文雄(千葉大学)・Liu Wen・顧林生	
ALOS/PALSARによる2007年ペルー沖地震および2008年中国四川大地震での建物全壊率分布の推定	352
○松岡昌志(産業技術総合研究所)・能島暢呂	
高解像度衛星画像を利用した津波被害の把握手法	354
○越村俊一(東北大学)・萱場真太郎	
スリランカにおける2004年インド洋津波による建物被害	356
○仲里英晃(筑波大学)・村尾修	
DMSF夜間可視画像を用いたハリケーン・カトリーナ被災地の再建状況のモニタリング	358
○高島正典(富士常葉大学)	
ALOS/PALSARデータを用いたミャンマー・サイクロンによる浸水地域の抽出	360
○加藤圭太(千葉大学)・山崎文雄	

デジタル航空画像を用いた 2007 年新潟県中越沖地震の建物被害抽出
○鈴木大輔 (千葉大学)・山崎文雄・丸山喜久

362

第 5 会場 (A E R 5 階 : 展示スペース)

11 月 3 日 9:30-17:00 地震工学技術フェア

11 月 4 日 9:30-17:00 地震工学技術フェア

11 月 5 日 9:30-12:00 地震工学技術フェア

地震工学技術フェア 2008—研究用および普及型の地震計—展示要旨

366

白山工業株式会社

株式会社 山武

日本航空電子工業(株)

株式会社 ミットヨ

(株)高見沢サイバネティックス

株式会社システムアンドデータリサーチ

株式会社勝島製作所

応用地震計測株式会社

セッション時間割および座長一覧
1題15分(発表10分・質疑5分)

会場	第1会場 5階多目的ホール (定員350名)	第2会場 6階セミナールーム(2)A (定員60名)	第3会場 6階セミナールーム(2)B (定員72名)	第4会場 6階セミナールーム (1)A+B (定員60名)	第5会場 5階展示スペース
----	------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	--	------------------

11/3 (月)	午前	9:30-11:15 鉄筋コンクリート構造 (解析・設計法) 中村友紀子・坂下雅信	9:30-12:30 機械設備系・免震・制 振・ヘルスマonitoring 柏崎昭宏・藤田智己	9:30-12:15 地盤震動(1) 横井俊明・中井正一	9:30-11:15 ライフライン・緊急速報・ 災害情報 柴山明寛・庄司学	技術展示
		11:15-12:45 鉄筋コンクリート構造 (地震被害) 田村良一・藤井賢志				
	午後	13:30-17:00 30周年 シンポジウム	17:30-19:30 懇親会			技術展示

11/4 (火)	午前	9:30-11:45 鉄筋コンクリート構造 (部材実験) 真田靖士・中村孝也	9:30-12:00 地中構造物・杭・基礎構 造・地盤-構造物相互 作用・土木構造物 飛田哲男・風間基樹	9:30-12:00 地盤震動(2) 佐藤智美・香川敬生	9:30-11:30 防災計画 佐藤健・吉田雅穂	技術展示
		13:00-15:15 地震観測・振動・その他 年縄巧・中村尚弘	13:00-15:15 地盤の液状化・斜面崩 壊 山口晶・渦岡良介	13:00-15:00 震源特性(1) 竹中博士・野津厚	13:00-15:00 岩手・宮城内陸地震(1) 福元俊一・三辻和弥	技術展示
	午後	15:30-17:00 原子力発電所 境有紀・飛田潤	15:30-17:30 耐震補強・新しい構造・ 材料・実験 北山和宏・船木尚己	15:15-16:45 震源特性(2) 池浦友則・渡辺基史	15:15-16:30 岩手・宮城内陸地震(2) 三辻和弥・福元俊一	

11/5 (水)	午前	9:30-11:15 木造(在来工法) 齋藤幸雄・中治弘行	9:30-11:15 深い地下構造 引田智樹・藤原広行	9:30-11:45 地盤震動(3) 石井透・植竹富一	9:30-12:00 リモートセンシングによ る災害把握 山崎文雄・三浦弘之	技術展示
		11:15-12:45 木造(伝統工法) 五十田博・中尾方人				